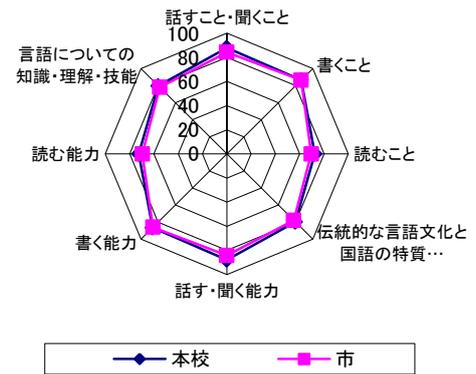


宇都宮市立古里中学校 第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	88.0	84.3	81.2
	書くこと	86.6	86.4	74.0
	読むこと	72.4	69.5	64.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	79.7	77.9	70.6
観点別	話す・聞く能力	88.0	84.3	81.2
	書く能力	86.5	86.0	74.2
	読む能力	72.4	69.5	64.8
	言語についての知識・理解・技能	79.7	78.1	70.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
 (国語では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○どの問題も正答率が高く、宇都宮市の平均を上回っている。	授業中の話し合い活動では、男女間の会話が活発に行われぬグループが見受けられるので、役割分担を明確にしたり、自分の意見をあらかじめメモするために、ふせん紙を使ったりして、活動を進めていきたい。話を聞くときには、少しでもメモを取る習慣を身につけさせたい。
書くこと	○ほとんどの生徒が積極的に作文を書くことができた。 ●3段落構成で文章を書くことができた生徒は78.8%であったが、宇都宮市の平均より4.3%低かった。	分かりやすさや、見やすさを工夫することで、相手の意識を高め、字もていねいに書く指導を続けたい。自分の意見をまとめる力を養い、さらに簡潔な文章が書けるように、具体的な例文を基に指導していきたい。
読むこと	○文学作品の内容を読み取る問題では、全て宇都宮市の平均を上回っている。 ●説明文の内容を読み取る問題では、文章の展開に即して内容をとらえることはよくできていたが、文章の構成や展開をとらえる問題の正答率は56.8%で、宇都宮市の平均より6.1%低かった。	筆者の考えを捉えたり、登場人物の心情の変化を読み取ったりするために、大切な箇所へのマーキング指導を続けていきたい。また論説文では、筆者の主張の展開の仕方から、より説得力のある文章とはどのような展開なのかを、指導したい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○漢字の読み書き、古典の内容を読み取る問題についてはよくできており、宇都宮市の平均を上回っている。 ●類義語・対義語、敬語について理解を問う問題についての正答率はどちらも76%で、宇都宮市の平均より2～5%低い。	何気なく使っている言葉だが、歴史の積み重ねの上に、現在の言葉があることや、人間関係を良好に保つためには、適切な言葉遣いが必要であることを指導していきたい。語彙を増やし、適切な漢字表記ができるようにしていきたい。また、いこしえの格調高い文学に触れ、その楽しさを伝えていきたい。古典作品は、暗唱することにより、リズムやことばの響きを感じる力を養いたい。